

第76号

青森地区保護司会

保護司会だより

発行：青森地区保護司会広報部
青森市長島1丁目3-28
更生保護施設プラザあすなる
青森地区更生保護サポートセンター内
TEL017-763-0763

大雪で 大喜びは 愛しい子



青森冬まつり 令和7年2月1日 青い海公園(アスパム裏)

撮影：広報部

新春初耳学と新年会

興味津々お金の話、大盛況のビンゴゲーム

令和7年1月25日(土) モルトン迎賓館にて、新春初耳学と新年会が開かれ、第2分会・石川恭裕保護司による「いまさら聞けないお金の話」と題して講話があり、

①お金って何!? ②お金持ちの定義 ③必見! お金の増やし方について話されました。最後は、タイムアップで聞けませんでしたので、興味のある方は、石川氏にお尋ねください。

新年会では、刑務所作業品の景品が当たるビンゴゲームが大盛況。最後の一言発言コーナーや新任の須田氏がアカペラでアメイジング・グレイスを披露し大歓声で終了となりました。



ビンゴゲームで
トップの
須田保護司
(第3分会)



講話 青森地区保護司会第2分会の石川恭裕保護司



新年会で挨拶する青森地区保護司会 天内修会長

【関係団体からの寄稿】

ねぶた参加の御礼

青森市PTA連合会

会長 棟方 文博

青森地区保護司会・青森県保護司会連合会・青森保護観察所様には、日頃より「青森ねぶた祭」を含め、青森市PTA連合会の様々なイベントにご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、令和6年能登半島地震の発生から1年がたちますが、被災地の皆様におかれましては引き続き苦難の中でお過ごしのことと心よりお見舞い申し上げます。

私たちは14年前に東日本大震災という未曾有の災害を経験しました。苦しかった当時を振り返り、子どもたちから笑顔が消えないよう、私たちにできることはなんだろうと考えた結果、能登半島地震で被災された子どもたちを「青森ねぶた祭」にご招待することといたしました。

おかげさまで、皆様からの温かいご支援、ご協力により、青森市の子どもたちだけでなく、能登半島で被災された子どもたちにも一生忘れられない最高の夏を届けることができました。このことに感謝申し上げますとともに、能登半島の日も早い復興そして被災された皆様の生活が一日も早く平穏に復することを祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

そして、青森市PTA連合会は、児童・生徒たちの健やかな成長を願い、特色ある様々な活動を沢山展開していきたいと思っておりますので、青森地区保護司会・青森県保護司会連合会・青森保護観察所様に於かれましても引き続き、子どもたちの笑顔のため、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



石川県志賀町の子もたち。青森ねぶた祭りを観覧、金魚ねぶた作り体験、三内丸山遺跡やラッセランド周辺を観光。そして、青森市PTA連合会のねぶた運行に参加。

令和6年8月5日、青森市PTA連合会の協力で、青森ねぶた祭りに参加しました。

青森県保護司会連合会、青森保護観察所、青森地区保護司会から有志が参加。

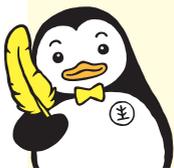
初めてねぶた祭りに参加した保護観察官は、世界のねぶたに参加できて感無量、また来年も出たい。と喜びがいっぱいでした。



ホゴちゃん提灯も



更生保護パネル展の出前! 更生ホゴちゃん!



令和6年10月3日(木)～4日(金)の2日間、市役所駅前庁舎(アウガ1階・駅前スクエア)にて、更生保護に関するパネル展が無人で開催されました。広報グッズは、来場者が自由に持ち帰られるようにしました。地区事務局、渉外部員、企画調整保護司が準備・撤収しています。(パネルは、青森県保護司会連合会提供)



広報グッズを追加したほど多くの方に配布できたパネル展



令和7年3月1日付

新任保護司紹介 「保護司の委嘱をうけて」



安田 規子

第3分会 (安方)

私はこれまで産業カウンセラー・キャリアコンサルタント・心理相談員等として、就労支援やメンタル不調を抱えた方に対しての相談業務を約20年実施して参りました。2年ほど他県で生活をするに伴い保護司を一度退任致しましたが、この度再任させて頂く事になりました。

昨今の世の中の情勢は目まぐるしく変化をし、それに伴って更生支援を受ける対象者の方々を取り巻く状況も多様化しております。家庭環境は複雑化し、発達障害に対しての理解や、若者・中高年・高齢者と世代に合った対応も求められております。

このような状況を踏まえつつ今後はこれまでの経験を活かして、「本気で更生」を望む罪を犯した方のお力になれるよう、温かくも実のある更生保護活動に取り組んで参りたいと存じます。みなさまどうぞよろしくお願い申し上げます。



川口 緑

第3分会 (新町)

この度、新しく保護司として活動をさせて頂くことになりました。2018年更生保護協会主催の研修旅行にご縁があり誘われ出雲大社、京都など一緒に過ごし、保護司について犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティアだと勉強させて頂きました。

近年、地域社会のお役に立てることはないだろうかと思つたところ、保護司の方とお会いする機会があり、活動についてお話を伺うことができました。一人の人間の人生に関わるとても重大な仕事だということに改めて認識し、保護司になることを決意しました。また、そのような重要な使命を自分は果たすることができるであろうかと不安を抱いた次第です。

地域への貢献という初心を胸に、ひとつひとつのことを誠実に対応し、その人の人生がより良きものになるよう微力を尽くしてまいります。

今後は保護司として諸先輩の方々のご指導を賜りながら、少しでもお役に立つことができるよう、努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



山崎 真直

第4分会 (油川)

公務員として務めながら、今年3月から保護司の活動させて頂くこととなりました。

保護司のなり手の確保が課題とされている中、自分にも何かできることはないかと思ひ保護司を志すことになりました。

わたしは37年間公務員として勤務し、そのうち約20年間福祉の仕事に携わってきました。これまでの間、年齢を問わず様々な課題を抱えている人たちの相談を受け、たくさんの方々に協力いただきながら課題に向き合ってきました。

今後は今までの経験を活かし、保護司として誠実な対応を心がけてまいりますので、諸先輩方のご指導をよろしくお願い申し上げます。



木浪 善光

第4分会 (外ヶ浜町)

私は、天理教の教会の会長をして18年になります。何か社会のために貢献できることはないかと考え、里親になり13年が経ちました。今まで17人の子供を養育させていただき、そのうち現在も5人の子供と同じ屋根の下で暮らしています。

昨年の夏ごろ、八戸市在住で教誨師をしている同じ天理教の教会の会長から、保護司を勧められ、以前から興味深いキーワードでしたのでためらうことなく決断しました。しかしながら、先日(3月3日)行われた新任保護司辞令伝達式後の研修会に出席させていただいたところ、専門用語が多くチンプンカンプンでした。大変だと思いましたが、年に数回の研修会もあるようですので、これから研修を重ねて保護司としての知識を身に付け、先輩保護司のご指導を賜りながら明るい世の中をめざし、一步一步前進できるよう取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



川村 一樹

第4分会 (今別町)

このたび保護司に委嘱されました今別町の川村一樹と申します。私は今別町役場を退職し、今は再任用職員ということで現在も役場の方に勤めております。

保護司になるきっかけは、町の偉い方から保護司をやってみないかと声をかけていただいたことがことの始まりです。その時は何で私のようなものかと思ひ断わるつもりで考えさせて下さいとお話し、数日考えた結果、せつかく声がけしてもらったんだから、あまり深く考えないで、まずはやってみよう、少しでも社会のために何か役に立てるならということで決意したところです。

今後は、保護司として犯罪や非行を犯した人が更生できるよう先輩保護司のご指導をいただきながら更生保護活動に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

夜越山に響いた 講話とブルース



夜越山スキー場

令和6年8月10日(土)青森地区保護司会第1分会と第2分会合同で社会を明るくする運動の新しい企画で、自主研修「青空研修会」を平内町夜越山森林公園のケビンハウスにて開催しました。

第1部は、第1分会石田次郎分会長、青森地区保護司会天内修会長から「保護司として今まで経験してきたこと」と題して講話がなされました。

第2部は、ボランティアで来てくれた青森刑務所刑務官バンドのブルース「B.B.HEADS」の演奏があり、ファンの方々も来場していました。感激!!夕刻から焼き肉パーティーも開かれ、うれしさと笑い声が絶えませんでした。その晩は、ケビンハウスに一泊となりました。当日は晴天に恵まれ、保護司の仲間として思い出深い1日を過ごせました。



第1分会
石田次郎分会長



青森地区保護司会
天内修会長



思い出話が尽きないOBとのひととき

～ 地区保護司OB会との情報交換会 ～



令和6年9月3日(土)青森地区保護司OB会との情報交換会がサッポロビアレストラン910で開かれました。地区保護司会から有志13名、OB会から5名の参加。

あるOBは「とにかく健康でなければ、このような会にも参加できない。このような機会がありとても感謝している。現職の皆さんも保護司を続けて頂いて本当にありがたい。」と話していました。いつか行く道、いつか来た道。これからも健康で。

更生保護関係団体から初参加で さらに輪が広がる新たな一歩!!



手踊り「愛をみんなで」(鳥羽一郎) 函館地区更生保護女性会、青森地区更生保護女性会の皆さん



青森地区更生保護女性会 第41回みんなのつどい

令和7年7月28日(日) リンクモア平安閣市民ホール

青森地区更生保護女性会主催、社会を明るくする運動、第41回みんなのつどいが、令和6年7月28日(日)リンクモア平安閣市民ホールにて開催されました。

西秀記青森市長(代理)、青森保護観察所野尻実所長、青森地区保護司会天内修会長より祝辞のあと、収益からの寄附金贈呈、青森市社会福祉協議会成田幾末会長の謝辞が行われました。

発表会では、地区更女会員の舞踊・唄のほか、今年は関係団体の青森県更生保護協会、更生保護法人あすなる、青森地区保護司会からの参加もあり、新たな一歩を踏み出しました。



挨拶する青森地区更生保護女性会塩原誓子会長と寄附金を受ける団体(左から)更生保護法人あすなる、青森地区協力雇用主会、青森県更生保護協会、日本赤十字社青森県支部、青森市社会福祉協議会



函館地区岡会長と函館地区更生保護女性会の皆さん



更生保護関係団体からの出演者(青森県更生保護協会、更生保護法人あすなる、青森地区保護司会)

青森地区更生保護女性会の皆さん

経過報告書や情報をデジタルで ～ 保護司専用ホームページ「H@」の実践研修～

この日にマスターしようと「H@」が初めての保護司

令和7年2月19日、青森保護観察所会議室にて、保護司専用ホームページ H@（はあと）完全マスター研修（初回登録）は、各自のノートパソコン、タブレット、スマートフォンを持参して研修を受けました。

青森保護観察所の佐々木企画調整課長、相馬保護観察官の指導で初回登録から始まり、

H@のノウハウをしっかりと勉強していました。中でも、保護観察経過報告書の進め方に関しては多くの時間を取り、できる限り H@を使って報告できるように真剣に取り組んでいる様子でした。

また、令和7年3月中旬には、仕様がバージョンアップされ、よりわかりやすい H@となる予定です。

保護観察経過報告書は、令和7年4月から個人のパソコンで作成できなくなり、H@または手書きとなります。



後輩保護司に伝えたいことや対象者の住居確保についてなど

令和6年9月5日(木) 地区保護司会(19名)と五所川原地区保護司会(19名)との合同交流会が開かれました。

五所川原地区からのテーマは

- ①対象ケースを担当する中で、後輩保護司に伝えたいこと
- ②依存症対象者との関わりについて(ご苦労された事例)
- ③社明運動の工夫や場面の拡大について
- ④次世代の保護司の確保について(候補者選定手段等)
- ⑤対象者の住居確保について(保証人問題等について)
- ⑥会運営に当たり、公的機関(自治体)からの助成の状況等

このテーマに対して、青森地区から選抜者が応え、両地区とも保護司会運営の参考になったようでした。



五所川原地区保護司会との合同交流会

手前は五所川原地区保護司会、挨拶する青森地区保護司会天内会長

— 令和6年度 受彰おめでとうございます —

青森地区保護司会被表彰者 (敬称略)

【法務大臣表彰】

川嶋 勝美 穴水由利子 岩谷 博昭 佐藤 俊政

【全国保護司連盟理事長表彰】加藤 節子

【東北地方更生保護委員会委員長表彰】 田邊 孝美 徳差 誠悦 齋藤 史彦
 酢谷奈保子 田川 伊吹 山本 治男

【東北地方更生保護委員会委員長感謝状】(協力雇用主1団体) 便利屋 青森ビックサービス
 (民間協力者1団体) 青森市PTA 連合会

【東北地方保護司連盟会長表彰】

有馬 敦子 大山由紀子 織田 隆全 工藤美智子 佐々木敦子
 佐々木雅久 七戸 俊逸 杉谷 徹也 高尾 和子 高橋 修一
 對馬 博 中村 徹 鳴海 敏恵 山上 雄治

【青森県知事感謝状】 阿部 哲 伊藤 文隆 柿崎 稔 工藤 清子

【青森保護観察所長表彰】

猪股 幸子 佐々木 聡 細川 信利 柿崎由見子 白取めぐみ 安田由美子

【青森保護観察所長感謝状・BBS 会員】 (青森県立保健大学) 工藤 音寧 須藤慎之介

【青森保護観察所長感謝状・協力雇用主】

(青森市) 有限会社丸高 高橋蒲鋒店 (青森市) 株式会社渋谷組 (青森市) 青森ソイルリサーチ

【青森保護観察所長感謝状・民間篤志家】 (青森市) 自立訓練宿泊施設 スマイル

【青森県保護司会連合会会長表彰】

伊吹 信一 大室 幸司 工藤 豊 斎藤 俊夫 相馬多一郎
 田中 桂子 坂本佳奈子 高崎 俊明

【青森県保護司会連合会会長表彰・家族功労】

田邊チヅ子 野澤 慶治 田中 紀子 加藤 憲男 穴水 忠之
 松山美奈子 石田美恵子



ホームページ
 青森県更生保護ネットワーク

青森県更生保護 検索

青森県更生保護大会の
 アーカイブを
 YouTube に配信
 中

お知らせ

保護司の新任
 委嘱時上限年齢
 66歳迄を撤廃しました

今まで新たに保護司の委嘱を受ける方の年齢は、委嘱予定日で66歳以下とされてきましたが、令和6年11月から撤廃されました。しかし、新任委嘱時の上限年齢は撤廃するものの、各保護区における保護司の年齢層のバランスにも留意することになっています。

保護司 川柳

いつものまに 主役になった 敬老会
 田邊 孝美

保護司減り 増えていくのは 再犯者
 三番目

披露宴 妻のトリセツ 添えるべき
 ナベ

青年の 雄叫びを知る 岩木山
 マサヒサ